



新年のごあいさつ

「新たな飛躍の出発点として」

丸亀市長 梶 正 治

新年あけましておめでとうございます。

皆さま方には、希望に満ちた新年を健やかに迎えのとお慶び申し上げます。

さて、わが国が直面する人口急減、超高齢化という大きな問題が浮き彫りにされてきた現在、各自治体はそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生していかなければなりません。

当市も、この課題に全力を挙げて取り組んでまいりますが、その重要施策の一つとして考えられるのが産業振興でございます。

様々な産業振興施策に積極的に取り組むことが、新たな企業の誘致や新規の創業を生み、雇用の創出を生むといった経済の好循環を作り出し、ひいては人口減少対策の一つの切り札とも成り得ると考えております。そこで、昨年、市内に工場等施設を設置する企業に対しまして、奨励措置を行うため「企業立地促進条例」を制定し、奨励金を交付期間3年間、総額5億円を限度に交付することによりまして、地元企業の活動を支援してまいることといたしました。そして、今後さらに貴会議所とお互いの連携を密にし、手を携えて産業振興を推進することにより、新しい価値を創造してまいりますので会員の皆さまにおかれましては、ぜひ制度の積極的なご利用をお願い申し上げます。

本島で、2013年に引き続き島の文化や生活に出会う現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2016」秋会期が、10月8日から11月6日まで開催され、島内でのアート作品展示はもとより、塩飽勤番所や笠

島伝統的建造物群保存地区など、歴史的遺産も発信し、期間中約2万4千人の来島者がありました。本芸術祭は、島の活性化や地域経済へ非常に大きな効果を及ぼしており、既に次回への開催気運が盛り上がっています。

また、近年のお城ブームや歴史ブームを背景に、丸亀城天守の入場者数が11月下旬に、昨年の入場者数10万1869人を1ヶ月も早く突破しました。現存木造天守十二城の1つとして、今年も「城のあるまち丸亀」を全国に発信し、中津万象園や丸亀市猪熊弦一郎現代美術館などの文化資源を絡め、観光客誘致に繋げる様々な事業を展開してまいります。

一方、東洋経済新報社が発表する全都市「住みよさランキング」におきまして、昨年に引き続き5年連続で四国1位の評価を受けました。

今後も、11万市民の皆さまとともに、「安心して暮らせるまち ふるさと丸亀」をより強く実践するため、全力で取り組んでまいります。そして、子どもたちが安心して未来に向かって大きく羽ばたけるよう努力してまいりますので、なお一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

結びに、本年の皆さま方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



議
員

参
与

佐藤 今池 池田 元木 小林 中野 矢野 荒木 高岡 佐藤 岩崎 杉山 岡部 三宅 伏見 浜本 榎原 岩田 大西 角野 小林 遠山 越智 岩井 七條 岡田 石橋 篠井 久山 中谷 仁谷 植田 山下 宮内
邦牧 孝洋 一健 昌秀 大泰 典正 尚洋 清幸 恵太 巧美 美志 勝忠 忠俊 良徳 文衛 峰年 泰志 敏弘 眞誠

山崎 吉田 山西 徳永 張北 大山 山崎 向谷 竹輪 田岡 頼富 前山 大岡 久保 角野 山田 篠原 竹中 河田 有木 山崎 眞室 橋本 辻村 片岡 野口 川田 廣瀬 空井 藤井 横井 馬場
純一 暁明 和誠 嘉樹 芳幸 良典 健一 充寛 洋史 俊哉 佳裕 信夫 剛司 貴彦 時達 清美 努郎 浩司 浩司 建太 公造 修二 眞嗣 英樹 隆海 健司 敏子 秀憲 一

当所では、会員数の増強に努めています。お知り合いでまだ商工会議所の会員になっていない方がございましたら、ぜひご紹介ください。